

2025年関西ゴールボール神戸大会に参加しました。

3月16日に兵庫県にて関西ゴールボール大会が行われました。スサノオアイズは今年度たくさんの卒業生がでた影響でメンバー不足につき交替なしの僕・恵君・藤野君の3人で参加することとなりました。今回は明石に1泊して大会に備えたのですが、前入りして明石焼きを食べているときが一番幸せだった気がします。大会当日は11チームとたくさん参加して頂き2リーグに分けての組み合わせになりました。1試合目は勝手にライバル意識をしている盲学校の生徒さんのチームドラゴン兵庫との戦いでしたが、7-0と大きく差を付けて負けてしまいました。皆本当によく練習しててどんどん強くなるので毎回対戦が楽しみです。2試合目は前回辛勝したチームでしたが、4-3で負けてしまいました。3試合目は強豪チームとの対戦で頑張って守ったのですが5回のハイボール（注1）で全部決められ8-0の大敗となってしまいました。罪の重すぎる反則に2回目の出場の藤野君の心は粉々です。最下位決定戦ではなぜか再度ドラゴン兵庫と対戦し、序盤は競っていたけど終わってみれば1-4の大敗となってしまいました。結果的には全敗して、悔しいながらも次こそはどうやって強くなるか考えてる（注2）あたり本当に僕はゴールボール好きなんだと思います。ちなみに最終試合はスパモン（注3）の選手たちのレベルの違う試合を目の当たりにして上を見ればきりが無いと実感しました。最後になりますが、準備・片付けも出来ない中遠くから来てるからと早く帰してもらい、休みなしに試合の運営をして頂いてるゴールボール協会の皆様にお詫びと感謝を申し上げます。

市岡 昇

注1：ハイボールとは？

ゴールボールでは、投げたボールは自陣のゴールから6メートル離れた場所にひかれたハイボールラインの手前かライン上で少なくとも1回はコートに触れなくてははいけません。違反した場合はハイボールペナルティが科せられ、ボールを投げた選手が一人でゴールを守ります。相手チームは（ハイボールにならなければ）誰がどこからボールを投げてもいいので、サッカーのペナルティキックよりも罰ゲーム感が強い気がします。止めるのはとっても難しい代わりに止めた時には会場が異常に盛り上がります。

ということで、ハイボールとは決して教授の好きな飲み物のことではありませんし、ハイボールペナルティはハイボールを一気飲みすることでもありません。そして1試合で5回のハイボールは多分飲みs、いえ、多過ぎと思われます。



諸事情により左利きののにライトのポジションを割り上げられた藤野くん。投げにくかったです。

これがハイボールライン。
このライン手前で必ずボールが床に触れるようにリリースします。

ハイボールかどうかはラインの真横から態勢を低くした審判が見ています。見逃してはくれません。

注2：次こそはどうやって強くなるか考えてる、だと？

それよりも専門医試験…と思った人は私以外にもいるはず

注3：スパモンとは？

京都のめっちゃ強いチーム。
スサノオアイズが勝つ日はきっと来ない。

まだ試合前です。決して祝杯ではありません。



大谷翔平の日本でのホームランを見逃した残念な人たち。そして明石焼きが来るまで待てずに乾杯。

夕飯を食べてお腹いっぱいなのに、せっかくだからとホテル近くの明石焼きのお店に行きました。みんなでメニューを見ながらどれを頼むか相談していたら、藤野くんがぼそっとつぶやきました。

「今、大谷翔平がホームラン打ちました」
「「え？」」
「今リプレーが流れてました…」

大事な瞬間を見逃しましたが、気を取り直して乾杯。明石焼きはあなご入りとタコ入りをオーダーしました。どちらも美味しかったです。



センターの市岡先生が止める



痛いけど…止める！



貴重な左利きなのに右から投げる



大丈夫です、ワンバウンドした後です（ハイボールではない）



今大会の参加メンバーで集合写真

全敗してしまいましたが、惜しい試合もありました。
勝利に決して手が届かないわけではなかったので多少のくやしさはありますが、怪我もなく（心の粉碎骨折は除く）試合を終えられたことが一番です。